

第 4 学年「音楽」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○友達と一緒に歌ったり演奏したりする楽しさを感じることができた。
○リコーダーで低いミから高いレの音を使った演奏ができる。
- 課題** ▼ 自分の歌声と友達の歌声を調和させて伴奏や互いの声を聴き合って歌う。
▼ リコーダーのタンギングや、音をなめらかにつないで演奏すること。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 発声や発音の技能を養い曲の特徴を捉えて表現の工夫をする力。
- ◇ 二部合唱のハーモニーの感覚をつかませる。
- ◇ 旋律楽器や打楽器で、「はずむ」「なめらか」「強弱」等の表現ができるようにする。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 楽譜やリズムを読む力を少しずつ身に付けさせる。また、正しい発声や発音、楽器の運指など、基礎的な技能を継続して指導しする。
- 児童同士で教え合って練習させる。

言語活動の工夫

- 表現活動では、どのように歌い、演奏したいのか等、自分なりの思いをもてるようにする。
- 鑑賞活動では、【共通事項】を基に感想を書いたり、友達と意見の交流をしたりする。

ICT活用の工夫

- 鑑賞では、映像を見せて楽器の種類や演奏の様子がわかるようにする。
- パソコンを使って簡単なリズムや旋律をつくる。

課題解決力育成の工夫

- 音楽表現を考えて表現に対する思いをもたせる。
- 曲や演奏の楽しさを見い出しながら音楽を味わって聴けるようにする。

達成目標

- 音楽のよさや楽しさを感じ、自分の思いや意図をもって音楽表現できるようにする。特に強弱表現を工夫する技能を身に付けるようにする。
- 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する。